

研究課題：小児三尖弁閉鎖不全症に対する弁輪縫縮手術（DeVega 法）の遠隔成績に関する研究

1. 研究の目的： 上記術式の遠隔成績を分析することで、術後の弁の働きがどの程度長持ちするのか、などの医学的な情報を充実させるとともに、どのような患者様に適した手術なのかをより深く理解すること目的とします。
2. 研究の方法： 診療録に基づく後方視的研究（介入なし）
3. 研究の対象： 2005年1月～2020年10月の期間中に、当院心臓血管外科において三尖弁閉鎖不全症に対する弁輪縫縮型形成術（De Vega 手術）をお受けになられた患者様を対象とします。
4. 研究期間： 倫理委員会承認後～2021年12月31日
5. 研究に用いる資料・情報の種類： 診療録（カルテ）のデータを用います。
6. 研究の方法： 診療録から収集した検査データ等を用いて、形成した三尖弁の機能の評価を行うとともに、形成術後の三尖弁が体格の成長に対してどのように成長していくかを調べます。また、将来的に再手術が必要となる確率などについても調査します。
7. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
論文発表・学会発表で行います。
8. 研究組織： 埼玉県立小児医療センター
9. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先
研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。

その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）